



豊橋市

第2次豊橋市
地球温暖化対策
地域推進計画

2021-2030

改訂版

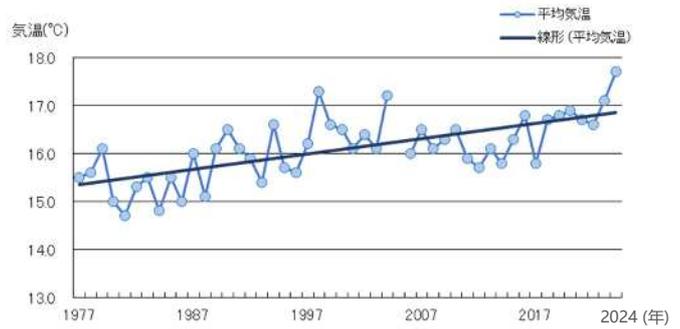
概要版

2026（令和8）年3月

豊橋市が地球温暖化対策に取り組む背景と意義

温暖化による影響の顕在化

- 平均気温は1977(昭和52)年から2024(令和6)年にかけて上昇傾向にあり、真夏日、夏日、熱帯夜の日数も増加しています。



豊橋市平均気温の推移

気候変動による影響

自然災害・沿岸域

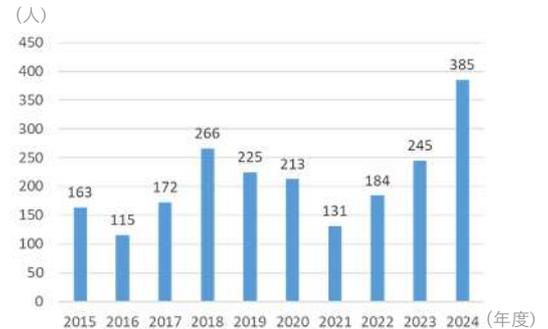
- 洪水、内水、高潮**
全国的に豪雨災害が激甚化・頻発化し、甚大な被害が発生しています。
- 土砂災害**
線状降水帯などの記録的な豪雨が発生し、全国各地で大規模な土砂災害が発生しています。



令和5年集中豪雨の様子（豊橋市）

健康

- 熱中症・死亡リスク**
本市における熱中症による搬送人員が増加傾向にあります。



豊橋市の熱中症（疑い含む）搬送人員の推移

農業・林業・水産業

- 水稻**
県内で高温による品質の低下や高温年での収量の減少、一部の害虫・病害の増加等の影響が確認されています。

緩和策と適応策の必要性

- 地球温暖化対策には、温室効果ガスを削減する緩和策と、気象変化に合わせて社会システムを調整し被害を軽減する適応策があります。
- 緩和策と適応策は車の両輪のような関係です。地球温暖化に対応していくために、どちらの取り組みも推進していく必要があります。

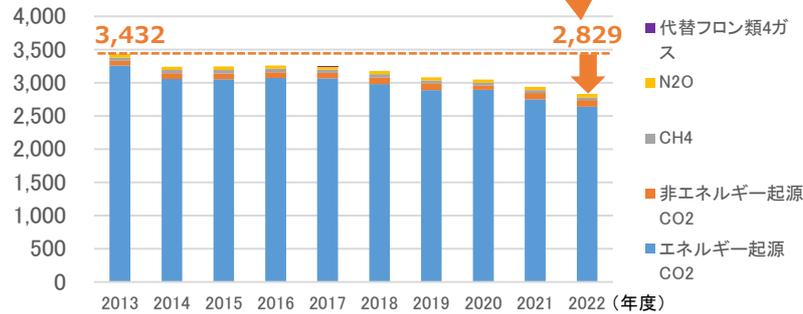


緩和策と適応策

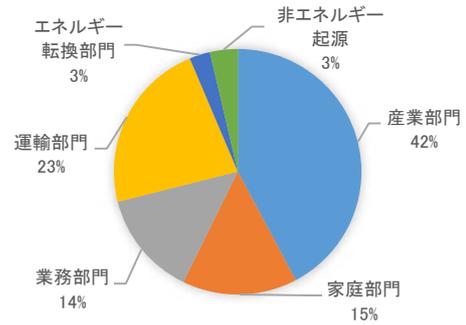
出典：環境省 (<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/stop2015/>)

豊橋市における温室効果ガス排出量の現状

温室効果ガス排出量
(千t-CO₂)



温室効果ガス排出量の推移
(2013~2022年度)



部門別の二酸化炭素排出量
(2022年度)

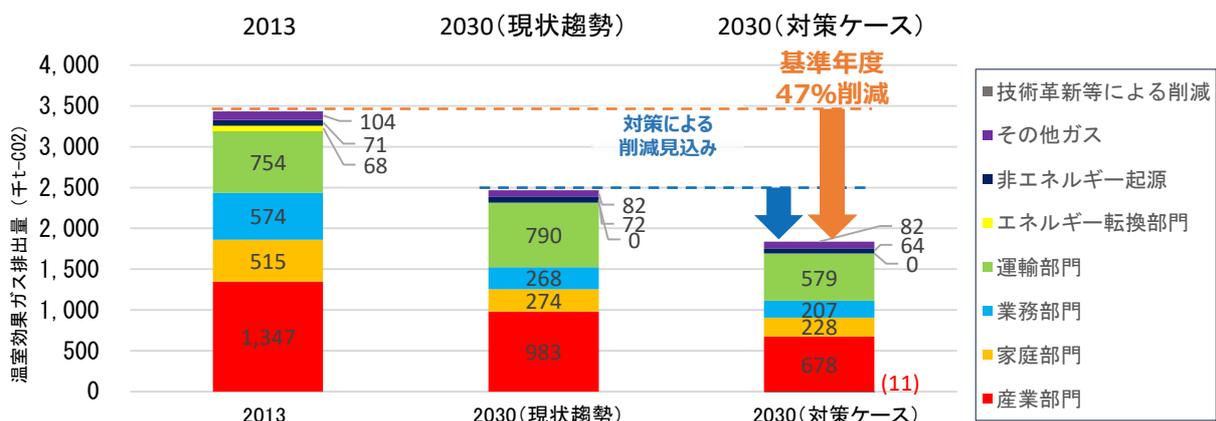
- 温室効果ガス排出量の推移をみると、2022(令和4)年度では2,829千t-CO₂と、2013(平成25)年度(基準年度)と比較して約17.6%減少しています。
- 部門別二酸化炭素排出量は、産業部門(42%)が最も多く、次いで運輸部門(23%)、家庭部門(15%)、業務部門(14%)と続いています。

豊橋市の温室効果ガス排出削減目標

- 温室効果ガス排出量の削減目標は、国の「地球温暖化対策計画」と整合を図り、基準年度(2013年度)に対し、短期目標(2025年度)28%削減、中期目標(2030年度)47%削減、長期目標(2050年)ゼロカーボンシティの実現、と定めます。
- 部門別の温室効果ガス排出量の削減目標は、中期目標(2030年度)に対し設定します。

2030年度における豊橋市の温室効果ガス排出量を2013年度比**47%削減**する。

- 【短期目標】(2025年度) : 28%削減
- 【中期目標】(2030年度) : **47%削減**
- 【長期目標】(2050年) : **ゼロカーボンシティの実現**



※現状趨勢とは、排出量が今後追加的な対策を見込まないまま推移したケースのこと

地球温暖化防止に向けた豊橋市の取組／緩和策

地球温暖化防止のため、5つの基本目標に取り組むこととします。

取り組みにあたっては、「エネルギーを賢く使う」、「新しいエネルギーを生み出す」、「地球にやさしい乗り物を使う」、「緑や資源を大切にする」の各項目を関連させながら進め、更に「地球環境への理解」により地球温暖化対策に取り組む意識の醸成を図ります。

基本目標 I

【節電・省エネ】

エネルギーを賢く使おう

取組方針

I-1 節電・省エネを実践する

- 市民や事業者による、節電行動や省エネルギー設備への更新について、さらに取り組みを推進するため、各主体のニーズにあった情報発信を実施し、更なる行動変容を促します。

I-2 建物の省エネ化を進める

- 建物のエネルギー消費量の削減に向けて、寿命が長く断熱性と気密性が高い構造の建物や、エネルギー消費効率の高い設備、自らエネルギーを創り出し効率的に消費する建物の普及を促進します。

基本目標 II

【再生可能エネルギー】

新しいエネルギーを生み出そう

取組方針

II-1 再生可能エネルギーの導入拡大を進める

- 公共施設へ再生可能エネルギー設備を導入するほか、住宅への太陽光発電や効率的に自家消費するための各種機器の導入、事業者による再生可能エネルギー事業の実施など多面的に支援します。

II-2 再生可能エネルギーの効率的・継続的な利用を進める

- 卒FIT電源の効率的・継続的な利用のための支援を行います。また、災害時避難施設への自立運転可能なエネルギー設備の導入や市民や事業者への設備導入の促進により、非常時の安心安全の確保を目指します。

II-3 再生可能エネルギーの地産地消を進める

- 市外に流出していた電気代を市内で効果的に循環させ、地域経済の活性化を図るため、地域新電力会社を通じて市内で創られた電力の地産地消と、環境・エネルギー産業の振興に向けた官民連携による取組を推進します。



【交通・次世代自動車】

地球にやさしい乗り物を使おう

取組方針

Ⅲ－１ 過度に自家用車に頼らないまちづくりを進める

- ① 誰もが利用しやすい公共交通機関の整備を行い、市民自らが“エコな”移動手段を選択するよう、様々な手段を用いて意識の醸成を図ります。

Ⅲ－２ 自動車を賢く使うライフスタイルに転換する

- ① 次世代自動車の普及や自動車からの温室効果ガス排出量を削減するために、普及啓発や渋滞の少ない道路環境づくりを進めるとともに、燃料電池自動車や電気自動車、自動運転技術などの普及に向けた環境整備を官民連携により検討して実現を図ります。



【リサイクル・まちづくり】

緑や資源を大切にしよう

取組方針

Ⅳ－１ 森林や農地を保全し、都市の緑化を充実する

- ① 二酸化炭素の吸収・固定源となる森林の保全と利用を推進するために整備事業を実施し、これらの取り組みの普及啓発を図るとともに、気温上昇緩和機能を有する農地の保全を推進します。また、都市公園の整備や道路の緑化など市街地の緑化を推進します。

Ⅳ－２ ごみ減量やリサイクルを進める

- ① ごみの減量や分別に関する啓発を行うとともに、新たなライフスタイルやワークスタイルを踏まえた取組を検討し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の一層の推進を図ります。



【環境学習・参画】

地球環境への理解を深めよう

取組方針

V－１ 地球温暖化についての意識を高める

- ① 地球温暖化がさらに進むことで起こりうる様々な影響や被害を理解し、地球温暖化対策に取り組む人材を増やすため、出前講座や施設見学など、様々な場所と機会を通じて環境教育を推進します。

気候変動の影響に対する豊橋市の取組／適応策

気候変動の大きな要因と考えられている温室効果ガスの削減に向けた取り組みである緩和策に加えて、既に起こりつつある気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減していくことを適応策と言います。より深刻化する気候変動の影響に対応し、被害を最小化・回避するための適応策を整理しました。

分野Ⅰ

農業、林業、水産業

【気候変動の影響と将来予測】

- 全国的に、農作物の品質低下、収量の減少などの影響が報告されています。
- 本市でも継続的な気温の上昇や害虫の増加による主力農産物の生育不良が見られています。

取組

- 環境と安全に配慮した農業の推進
- 温暖化に対応した品種への転換に対する支援
- 害虫の越冬対策の強化や防除技術の普及等に対する支援



次郎柿の
日焼け

ピーマンの
日焼け



出典：JA豊橋

分野Ⅱ

水環境・水資源

【気候変動の影響と将来予測】

- 全国の公共用水域における水温変化、水質の変化が報告されています。
- 年間の降水の日数の減少による、渇水の影響が出るのが懸念されます。

取組

- 渇水対策の実施

分野Ⅲ

自然生態系

【気候変動の影響と将来予測】

- 生物の分布域やライフサイクルの変化などの事例が確認されています。

取組

- 生態系ネットワークの形成の推進
- 干潟保全の推進
- 特定外来生物の防除
- 大規模植生回復事業の推進
- 動植物の生息状況調査



アカウミガメ

【気候変動の影響と将来予測】

- 大雨や短時間強雨による影響で、水害や土砂災害が全国各地で発生しています。
- 今後も台風の激化や局地的な大雨の頻発が懸念されます。

取組

- 各種ハザードマップの作成
- ため池の洪水調整池としての利活用
- 河川や水路、橋梁の長寿命化
- 同報系防災無線、ほっとメール、防災ラジオ等による情報発信
- 防災ガイドブックの配布



がけ崩れの様子
(豊橋市)



防災ガイドブック
(豊橋市)

【気候変動の影響と将来予測】

- 熱中症の搬送者数が増加しています。
- 感染症を媒介する昆虫などの生息範囲の変化による新たな感染症リスクが懸念されます。

取組

- 熱中症予防に関する普及啓発
- 極端な高温発生時の情報発信の実施
- クーリングシェルターを活用した熱中症対策



熱中症予防行動リーフレット
(環境省)

【気候変動の影響と将来予測】

- 高潮や暴風等によるコンテナターミナル等の港湾施設等への被害が報告されています。
- 港湾物流の滞り等が懸念されます。

取組

- 被害を最小限にとどめ、事業の継続、早期復旧に向けたBCP策定の推進
- 産業の集積地区における港湾施設の整備促進の検討

【気候変動の影響と将来予測】

- 都市インフラ、ライフライン等の停電発生対策に関するコストの増加が予測されます。
- 気候変動やヒートアイランド現象により市街地の気温が大幅に上昇することが予測されます。

取組

- 熱中症予防に関する普及啓発（再掲）
- 極端な高温発生時の情報発信の実施（再掲）

市民の取組の例

市民が日々の日常生活において、特に環境への配慮行動として行うことが望まれる取組を整理します。

取組Ⅰ

エネルギーを賢く使おう

- ① エコファミリーに登録し、節電や省エネ活動に積極的に取り組んで、持続可能で豊かなくらしに転換しましょう。
- ② 住宅に省エネ家電、太陽光発電、断熱材などを取り入れ、エネルギー消費量をゼロに近づけるZEH（ゼッチ）について検討しましょう。
- ③ 災害時にも電力が活用可能なリチウムイオン蓄電池の導入を検討しましょう。

取組Ⅳ

緑や資源を大切にしよう

- ① 家庭で緑のカーテンを設置したり、敷地内の緑化に取り組みましょう。
- ② ごみの分別に取り組み、リサイクルに協力しましょう。
- ③ マイバックを利用したり、プラストローなどの使い捨てプラスチックの利用を控えましょう。

取組Ⅱ

新しいエネルギーを生み出そう

- ① 住宅への太陽光発電設備の導入を検討しましょう。
- ② 固定価格買取制度による買取期間を終えた後も、再生可能エネルギーから創出された電力（卒FIT電源）を自家消費し化石燃料による電力消費を抑えましょう。

取組Ⅴ

地球環境への理解を深めよう

- ① 市や市民団体が開催する環境イベントに積極的に参加しましょう。
- ② 家庭においても、環境教育や食育を実践しましょう。
- ③ 書籍や市の広報誌、インターネットなどを活用して地球温暖化対策に関する情報収集を行い、理解を深めましょう。

取組Ⅲ

地球にやさしい乗り物を使おう

- ① 近距離を移動する際は、徒歩や自転車の利用を心掛けましょう。
- ② 遠方へ移動する際は、バスや鉄道などの公共交通機関を利用しましょう。
- ③ パーク&ライド、サイクル&ライドにより、公共交通機関を利用し、自家用車利用を抑えましょう。
- ④ 通勤時はエコ通勤を心掛けるとともに、可能であればテレワークも選択しましょう。
- ⑤ 自家用車を購入する際は電気自動車などの次世代自動車の購入を検討しましょう。
- ⑥ 自家用車を運転する際はエコドライブを実践しましょう。

豊橋市役所 環境部 環境政策課

〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地
Tel (0532)-51-2419 Fax (0532)-56-5126
Mail kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp